

【会議概要】

日 時	令和6年8月1日（木） 14:00～15:30
場 所	松田町役場4階4AB会議室
出席者	別添出席者名簿の通り
会議名	令和6年度 第1回 松田町・寄村 合併70周年記念事業準備委員会

【議事録】

発言者	内 容
事務局	<p>開会</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、第1回松田町・寄村 合併70周年記念事業準備委員会を開会いたします。</p> <p>本日は、ご多用のところ本委員会にご出席くださり、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本委員会の事務局を務めさせていただきます、政策推進課の松田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本委員会は、昭和30年4月1日に当時の松田町と寄村が合併し、現在の松田町となり、令和7年4月1日をもって節目となる70周年を迎えることから、町民や町関係者等が相互に連携、協力して積極的かつ主体的に「松田町」を盛り上げ、笑顔あふれる幸せのまちづくりを推進することを目的とし、設置させていただきました。</p> <p>皆さまには、各団体を代表して、参集いただいていることと存じますので、町と連携し、協働にて本事業および松田町を盛り上げていただけたらと思います。</p> <p>委員会設置に伴い、要綱につきましては町にて作成させていただいております。事前に送付させていただきましたが、何かご意見等はございますでしょうか。</p> <p>＜意見等なし＞</p> <p>特にご意見等ないようなので、この内容で進めさせていただきます。</p> <p>なお、会議については、記録及び写真撮影をさせていただき、町公式サイトへの掲載を予定しておりますので、あらかじめご了承をお願いします。</p> <p>また、本日の審議時間は、概ね1時間30分程度を想定しておりますので、円滑な議事進行にご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>1. 委員長あいさつ</p> <p>それでは、委員長から挨拶をいただきたいと存じます。松田町・寄村 合併70周年記念事業準備委員会設置要綱第5条に基づき、「委員長は、町長をもって充てる。」ものとされています。</p>

<p>委員長</p>	<p>委員長、お願いいたします。</p> <p>連日暑い中、また大変お忙しい中、本会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。また、皆様におかれましては、日ごろより町政運営の各セクションにおいて多大なるご尽力をいただいておりますこと、この場をお借りしまして改めて厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、7月21日に、43年ぶりに松田町に帰ってきていただいた、NHKの『のど自慢大会』が開催されました。唄ってくれた方は、事前に選ばれた方から前日の予選で更にしぼられて、最終的に20組となりましたが、その中で松田町の方は3名いらっしゃいました。私は、事業の中身はもとより、ひとつのことに向かってみんなが進んでいく、あの雰囲気良かったと思います。本事業につきましても、ひとつのことに對して、皆さまだけでなくいろんな人が向かっていく、そんな形で進めていければいいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>先ほどもお話がありました通り、昭和30年に合併してから、来年で70周年を迎えます。進行の都合上、町から事業案も提示させていただきますが、これらはあくまで素案ですので、皆さまには是非、こちらの案についてだけでなく、もっとこういった内容が良いのでは、というような忌憚のないご意見をお出しいただき、今回集約した内容を次回会議での決定に向けて進めていければと思います。</p> <p>2. 自己紹介</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、初めての会議となりますので、委員の皆さま方から一人ひとり、ご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>恐れ入りますが、お配りした名簿順にお願いいたします。</p>
<p>市村委員</p>	<p>自治会長連絡協議会、副会長の市村です。</p> <p>昭和30年に合併されて70周年とのことですが、自分は昭和31年生まれであり、合併とほぼ同じ70近くとなりますが、近皆様の足を引っ張らないようにできたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>同じく自治会長連絡協議会、副会長の飯田です。</p> <p>生まれも育ちも寄で、少し離れた後40代頃に戻ってきました。寄地区は松田地区と別というような感じでしたが、この事業を機会に是非『ひとつの町』であるということをもっと盛り上げていただきたいので、協力してこの企画を盛り上げていきたいと思っております。</p>

陶山委員	<p>松田町商工振興会長の陶山と申します。</p> <p>私は松田町の商業・工業をまとめているところとなりますが、寄地区の振興会ともしっかりコミュニケーションをとって、本事業を町全体で盛り上げていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
渋谷委員	<p>松田町観光協会長の渋谷と申します。</p> <p>私は、70 数年間寄に住んでおり、寄もだいぶ開けてまいりましたが、町が観光立町を掲げているということもありますので、この機会に是非、町長をはじめとした行政の方に、改めて寄も含めた観光事業を推進していただきたいと思ひます。</p>
加藤委員	<p>校長園長会の会長を務めさせていただいております、寄小学校長の加藤と申します。</p> <p>私は、この4月に着任させていただいたのですが、松田町は本当に素敵などころなので、子ども達にこのふるさとを好きになってもらえればなと思ひ、教育活動に邁進しております。よろしくお願いいたします。</p>
吉川委員	<p>松田さくら保育園の園長の吉川と申します。</p> <p>今回、70周年記念事業の委員にお声かけいただきましたので、ここで育ていく子ども達と一緒に何かできることを考えて、皆さまと一緒に薦めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
草門委員	<p>文化財保護委員の草門と申します。</p> <p>私は、松田生まれ松田育ちで、70年前、小学校3年生の時、合併記念で旗を振って歩いたことを記憶しております。そんな私が今、この席にいますことは非常に感慨深いとしみじみ感じておりました。</p> <p>さて、町長は就任の時から『温故知新』を座右の銘に掲げ、以前、広報のコラム“松だるま”で「町が廢れるのは、歴史を語る人がいなくなった時だ」と書かれております。こうした周年事業に着手されるのも、そういった精神に基づいてのことと考えております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
三木委員	<p>湘南ベルマーレフットサルクラブの三木と申します。</p> <p>松田町さんとは包括連携協定を締結させていただいていることもあり、今回委員として参加させていただくこととなりました。</p> <p>今回の周年事業を、ベルマーレのコンテンツを使って盛り上げていければと思います。よろしくお願いいたします。</p>

小島委員	<p>湘南ケーブルネットワークの小島と申します。</p> <p>平塚市に本社があり、松田町にも事務所を抱えておりますケーブルテレビ局でございます。</p> <p>私自身は町民ではなく、職場が松田町ということで、5年程働かせていただいております。新参者、若輩者ではございますが、逆にそういった目線で皆さまのプラスになればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>松田町役場政策推進課の鈴木と申します。</p> <p>私は平成21年、今の政策推進課の前身である企画財政課に配属され、その時に町政100周年事業を担当しておりました。その時は1年間お祭り騒ぎで、記念誌をつくったり、様々なイベントを行ったりしたことを覚えております。今回の70周年事業についても、より多くの方に参加していただき、心に残る記念事業にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
鍵和田氏 (遠藤委員代理)	<p>松田町役場観光経済課の鍵和田と申します。本日は、委員である観光経済課長の遠藤が公務にて出席不可のため、代理で出席しております。</p> <p>現在、観光経済課では70周年の記念商品づくりとして、寄で栽培した芋を使った芋焼酎の開発に取り組んでおります。来年、完成した際には本商品を活用し周年事業に協力させていただきたいと思っておりますので、皆さまよろしくようお願いいたします。</p>
椎野委員	<p>松田町の教育課長をしております椎野と申します。</p> <p>私の方では、子ども達を含め町民の方々に郷土愛を育んでいただく、そんなイベントを企画しておりますので、実施の際は是非、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>政策推進課の課長補佐を務めております、鍵和田と申します。</p> <p>定住少子化担当室の富士原と申します。</p> <p>最後に改めまして、政策推進課の松田です。 本日は、よろしくお願いいたします。</p>
<p>3. 副委員長の指名</p> <p>皆さま、ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第3、副委員長の指名となります。</p>	

	<p>副委員長につきましては、設置要綱第5条に基づき、「副委員長は、委員長が指名する。」ものとされています。委員長ご氏名をお願いできますでしょうか。</p>
委員長	<p>はい、それでは、こちらで無理をいってお願いさせて頂き、快諾をいただいた方がおりますので、そちらの方をお願いしたいと思います。</p> <p>自治会長連絡協議会の市村様に副委員長をお願いいたしますので、皆さま、ご承知おきの程よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは副委員長、ご挨拶をお願いします。</p>
副委員長	<p>改めまして、ご指名にあずかりました、市村です。</p> <p>私は店屋場自治会なのですが、この自治会は松田町で2番目に大きな自治会となります。もともとは町屋自治会から分かれてできた自治会となりまして、若い人を含め、多くの自治会員がおります。</p> <p>今回の周年事業につきましては、先日開催された寒田神社のお祭りの中でも、広く参加者に周知をいたしまして、何かやりたいことなどありましたらお知らせくださいとお願いしてきたところです。本日、ご参加頂いております皆さまとも、懇親を深めながら本事業を実施していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議題に入る前に、本日の配布資料の確認をさせていただきます。資料については、郵送したものと、机上配布したものがございます。まず、机上配布したものとして、次第と、出席者名簿です。</p> <p>次に、事前に郵送させていただいたものとして、別紙1の実施方針(案)、別紙2の記念事業(素案)、参考資料1の要綱がございます。</p> <p>資料の不足等はございますでしょうか。</p> <p>《不足等なし》</p> <p>それでは、これより設置要綱第5条の規定により、本山委員長に議事を進めていただきたく存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>4. 議事(1) 令和6年度 事業方針等について</p> <p>それでは、議事(1) 令和6年度 事業方針等について、事務局より内容の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、別紙1の1ページをご覧ください。</p> <p>まず、趣旨でございます。冒頭で説明した通りでございますが、今回、「温故知新」を大切に、これまでの歴史・文化を知って頂き、現在の状況</p>

	<p>を見渡しながら未来を創造しながら、みんなで70周年事業を盛り上げていきたいと思えます。</p> <p>続いて、合併の流れについてですが、1909年（明治42年）に町政が施行され、今年、令和6年度が町政施行115周年記念です。そして、町政施行から46年度、1955年（昭和30年）の4月1日に松田町と寄村が合併し、現在の松田町となっております。</p> <p>そのほか、近隣市町村についても記載しておりますのでご覧ください。</p> <p>次に、コンセプトでございます。コンセプトにつきましては、町にて素案を作成しております。“『ツナガル』～みんな友だち大作戦～”です。込められた想いとしましては、人口減少社会だからこそ、人と人とのつながり、支えあい、相互尊重が大事になると考えまして、本記念事業を通じて町民同士の交流、または町民と町外の方との交流を促すことができると考えております。</p> <p>それでは、コンセプトにつきまして、一度話し合いのお時間を設けさせていただきたいと思えます。委員長、お願いします。</p>
委員長	<p>はい、ちなみに、下に『その他には…』とあるのは、どこから出てきた意見になりますか。</p>
事務局	<p>こちらは、その他の案として事務局にて考えたものになります。</p>
委員長	<p>わかりました。先ほど、飯田委員からもお話があったとおり、松田と寄を『ひとつの町に』として進めていく、そういった機運を高めるということでも非常にいいことかな、と私も感じているところです。</p> <p>皆さま方には、何かもっとこうした方が良いのではないかとか、こういったものはどうかとか、ご意見を頂けるとありがたいのですが、いかがでしょうか。</p>
草門委員	<p>広報にも出ている言葉ですし、松田町、という感じがして良いのではないかと思います。</p> <p>ちなみに、カタカナ表記であることについては何か意味があるのか。</p>
事務局	<p>小さな子どもたちにもわかるよう、カタカナにしています。</p>
吉川委員	<p>みんながつながって一体感を持って同じ方向を向いて進んでいくということで、町の総合計画の将来像にも『未来へツナグ』という言葉もありますので、このテーマで良いと思えます。</p>

陶山委員	このテーマでしたら、今後事業を展開する際にも色々対応ができ、可能性が広がるものと思いますので、良いと思います。
委員長	『ツナガル』と『ツナグ』で違いが出てくるところもあるかと思いますが、そういった観点については、加藤さん、いかがでしょうか。
加藤委員	<p>合併を記念した事業のコンセプトとしては、『ツナガル』という言葉はとてもふさわしいと思います。また、カタカナであることも、意味を限定せずに様々な解釈ができるようになっておりますので、良いと思います。</p> <p>また、『ツナガル』だと自然に繋がっていく、『ツナグ』だと意思を持って繋げるというような捉え方ができるとは思います。そういった形でPRしていきたいのか、というところで変わってくると思います。</p>
鈴木委員	総合計画では『ツナグ』という言葉を使っているところですが、今回の事業で自然に繋がっていくことを目指すというところでは、やはり『ツナガル』がふさわしいのかと思います。
加藤委員	その他の案では、「松田町」という名前をいれているのもいくつかありますが、例えば『マツダ ツナガル』とか、そのように町の名前をいれてみるのも良いかと思います。
副委員長	今回は合併70周年記念ということで、これから合併するのであれば『ツナグ』という文言も良いかと思いますが、合併したのちの記念、ということであれば、『ツナガル』でよろしいかと思います。
委員長	<p>素案のベースになる言葉は『ツナガル』として、先ほどご意見のありました『松田』という言葉を入れることと、コンセプトを分かりやすく示すということで、『70』という数字を入れてみるということも考えられますね。そのあたりをサブタイトルに入れるか、というところもあると思いますが、子どもたちもわかりやすいような形にできると良いですね。並べると『マツダ ツナガル 70』とか、そういった感じでしょうか。</p> <p>これについては、今回出たキーワードをもとに、こういった形で並べるのが良いか、次回の会議でもう一度考えてみましょうか。</p> <p>それでは、続きについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。それでは、2ページ目をご覧ください。</p> <p>対象事業については、大きく4つのカテゴリに分類しております。</p> <p>(1) 記念事業、(2) 住民参加事業、(3) 冠事業、(4) 情報発信事業</p>

です。なお、各事業の具体的な内容等については、議題2にて話し合いをさせていただきたいと思えます。

つづいて、事業期間です。期間は、令和6年4月から令和8年3月末までとし、このうち、令和6年4月から令和7年3月まではプレ記念事業期間で、合併70周年を広く広報し、啓発する期間とし、令和7年4月から令和8年3月までを記念事業期間とします。

次に、周知方法案です。周知方法としては、(1)町公式サイト、(2)SNS、(3)地元メディアとの連携、(4)ポスターや回覧、(5)記念イベント、(6)記念ロゴ・グッズとして、考えられる基本的な内容について記載しております。こちら、議題2で、そのほかに考えられる案等についてご意見いただきたいと思います。

つづいて、準備委員会の会議の流れの案です。会議は全5回、9月に2回目、10月に3回目、11月に4回目、2月に5回目を実施予定です。3回目からはグループに分かれ各事業について話し合い、5回目で全体報告、というような流れで進めていきたいと考えております。こちらの流れにつきましても、皆さまの意見を反映させながら検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、備考ですが、町では町職員の分科会も立ち上げ、開催する予定となっております。

以上となります。

委員長

はい、それでは、説明がありましたとおり、実施の期間は令和7年度であり、7年度に向けて進めていくということで、ご承知のほどよろしくお願いいたします。また、周知方法等については、議題2で改めてお話しさせていただければと思えますので、よろしくお願いいたします。また、分化会につきましては、町職員で実施する以外にも、色々な方々にお願いすることを想定しておりますので、よろしくお願いいたします。

4. 議事(2) 令和6年度 事業方針等について

続いて、議事(1) 記念事業について、町にて素案をまとめておりますけれども、皆さま方からも、こんなことをやった方がいいんじゃないの、というようなご提案、ご助言をいただいて、もし間に合えば、9月の補正に関する議会で提案していきたいとも考えております。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局

はい。続きまして、別紙2をご覧ください。こちらの記念事業の素案につきましては、町にて考えた記念事業の一部であり、実施が決定している事業及び、周年事業の周知のために取り急ぎ決定したい、情報発信事業の

	<p>案について記載しております。</p> <p>まず、実施が決定しており、令和6年度予算にて準備経費等をもっている事業が3つございます。1つ目が、記念商品作成事業。芋焼酎づくりが現在進行中です。2つ目に、全国松田サミット開催事業。来年度開催に向けて、実行委員会を立ち上げて準備を行います。3つ目は、暮らしのガイド発行事業。平成30年が最終版となっている暮らしのガイドにつきまして、最新版を発行いたします。</p> <p>そして、今回皆さま方にご議論いただきたいのが、検討事業についてです。こちらには、情報発信事業について記載させていただいております。予算が必要なものにつきましては、9月補正にて予算計上を検討しておりますので、本日ある程度の方針が決められたらと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今お話しがありました通り、実施決定済み事業につきましては、このとおり進行中ですので、ご承知おきください。</p> <p>検討事業につきまして、先ほどお話しさせていただきました『ツナガル』という言葉キーワードに、ロゴマーク等を作成していくこととなると思いますが、やはりロゴマークの作成等については、町民の方を含め、広く募集をかけた方が良いのではないかと思います。いかがでしょうか。</p> <p>こちらにつきましては、応募されたものを皆さま方で審査してもらって決定するような形にできればと思いますが、スケジュール感等につきまして、改めてご用意させていただければと思います。</p> <p>また、盛り上げ隊につきましては、委員の皆さま方、町職員とは別に、周年事業を各所で周知してもらおう組織があればと思います。設置できればと考えております。こちらにつきましては、先日、立花学園さんと協定を締結したのですが、学校側の事業として、町を盛り上げてくれる有志の生徒が15人くらい集まってくれているという話を聞いており、そこに徐々に町民の方も含めて足し算していくような形にできればと考えております。</p> <p>そして、記念グッズにつきましては、素案としていくつかあげさせていただいておりますが、そのほかに、こんなものならばコンセプトにあう、これなら記念品としていいんじゃないの、というようなご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>三木委員</p>	<p>たとえば、バッジやキーホルダーなど、子どもたちのランドセルやカバンにつけられるようなものなら、そこから色んな人の目に留まるのでよいのではないのでしょうか。</p>
<p>陶山委員</p>	<p>普段から使われるもの、たとえば給食の食器やコップなどをつくるとい</p>

	<p>うのもいいかと思います。</p> <p>それと、Tシャツやポロシャツですと、人によってほしいほしくないなどもありますので、町の様々な場所でみんなの目に留まるような、タペストリーみたいなものを作ってみても面白いかなと思います。</p> <p>また、先ほど話にでておりました、立花学園の生徒さんたちなどの若い人の意見を聞いてみて、面白い意見が出れば集約して、いいものができるのではないか、と思いました。</p>
草門委員	<p>町の若い職員さんが集まる場などで、意見を徴集してみるのもいいのではないかと思います。</p>
小島委員	<p>やはり、何か身につけたくなるようなものが良いと思います。先ほど、キーホルダーというお話もでておりましたが、たとえばキャラクターに、70周年ならではの要素を何か足したものとかが、そういったものが良いかと思います。</p>
草門委員	<p>キーホルダーに似てますけど、小学生のランドセルにもつけられるような、寒田神社さんのお守りなども良いかと思います。</p>
委員長	<p>寒田神社さんのお守りというのと、木でできたものだったのでしょうか。そうであれば、例えば寄の木を伐りだしてきて作るとか、そういった形にするのもありですよ。</p>
渋谷委員	<p>具体的にこれ、というのではないのですが、やはり一目で松田町のものと分かるようなものにするのが良いと思います。</p>
飯田委員	<p>1年間だけ目につくものではなく、たとえば下敷きとか、何か続けて使えるものが良いのではと思います。また、配布する対象の世代をどうするか、というところによって作り方なども変わってきてしまうので、そのあたりを絞っていかないと、どれだけ用意するか、といったところも決められないのではと思います。</p>
委員長	<p>例えば、子ども達を対象として配布するとしたら、どのようなものが喜ばれるか、加藤さん、吉川さん、お聞きしてもよろしいでしょうか。</p>
加藤委員	<p>学校的な発想で恐縮なのですが、形が松田町の地区別になっている木工パズルみたいなものがあれば、子ども達が遊びながら自分の住んでいる地域について学ぶことができるといいと思います。</p>

吉川委員	<p>マスコットというか、そういったものは子供たちが喜ぶかと思います。</p> <p>また、周年事業ということで、一部の人だけでやるのではなく、例えばコロナの時に子供たちが作った上病院を応援する横断幕のように、町民以外の、そこを通る人達にもアピールできるような、町全体を盛り上げられるようなものも良いのかと思います。</p>
椎野委員	<p>例えば、小学生のランドセルカバーに周年記念の文字を入れるとか、そういったものも面白いかと思います。</p>
鍵和田氏 (遠藤委員代理)	<p>通学中の子供たちというのは、必ず目に留まるものなので、やはりそういった子供たちのランドセルなどにつけられるキーホルダーやシールなどが、周知のために良いと思います。</p>
委員 長	<p>ちなみに、周年事業とはいっても、あくまでこのタイミングに合わせて作る、というもので、単年度で終わるものではなく長く使ってもらえるものを作りたいと思います。芋焼酎についても、周年事業として作るものではあるけれど、継続して作り続けて、一過性にならないようにしていきたいと考えております。</p> <p>町では、以前2種類のかるた（SDGs、未病）を作成したことがあります。町オリジナルのかるたというのはなかったと思うので、町民の方に広く内容を募集して、合併70周年かるたを作成したりすれば、大会を開催する等でその後も長く使えるし、内容の更新なども含め、色々な人が関わられるので、良いかなと思います。</p> <p>そういった観点で、今後長く残せるようなものなど、またアイデアが浮かびましたら、次回の会議でも、またその前にメールやFAXなどでもかまいませんので、教えていただければと思います。</p> <p>さて、グッズ作成について色々なご意見を頂きましたが、続いて、その他記念事業と書いてございますが、毎年町で実施しているようなイベントとは別に、例えば記念式典のような、スポットで実施する事業について、どういったものがよいかというご意見をお伺いできればと思います。</p>
草門委員	<p>4月1日になるのかとはおもいますが、やはり、まずは公式の記念式典を開催するべきではないかと思います。</p> <p>ところで、グッズの話にもどってしまいますが、グッズについては販売するのでしょうか。それとも、配布をするのでしょうか。その位置づけによっても、また数量等変わってきてしまうと思いますが。</p>

<p>委員長</p>	<p>以前、合併 60 周年事業でポロシャツを作成した際は、実行委員の方等には配布しましたが、そのほかについては販売し、完売しました。</p> <p>今回についても、1 個のコストが高額でないものについては配布してしまってもよいと思いますが、また頂いたご意見をもとに作成するもののコストなども鑑み、改めて調整させていただければと思います。</p> <p>また、あまり景気よくお配りしても、税金の無駄遣いととらえる方もいるかもしれませんので、もらってうれしいものを作る、ということを前提に考えたいと思います。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>ちなみに、記念事業については、どのくらいの予算か決まっておりますでしょうか。私としては色々やりたいことがあるのですが、例えば、神奈川フィルを呼んで、お客さんを無料で入れるようにしたりと、しかし、そういったことには費用が必要になってくるので、そういったこと考えると、事業については、花火大会と併せて開催したりと、そういった形の方が確実に実施できるのではないのでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>基本的には、新規でやるべきもの以外は既存事業の拡充といった形でやっていくことがやりやすいのかなと思っています。手法についても様々あると思いますが、内容の細かい部分は次回調整するとして、今回は、拡充の話もありましたが、そういったところも含めてどのような事業を行うかについてご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは、時間の都合もありますので、次の内容に移らせていただきたいと思います。発信の方法について、別紙 1 の 2 枚目から 3 枚目にかけて記載しておりますが、これらに書かれた方法以外に、何か手法等あればお伺いできればと思います。</p> <p>ベルマーレさんでは、今書かれている以外に何か発信で使われているものはございますでしょうか。</p>
<p>三木委員</p>	<p>ベルマーレのホームページや、公式インスタグラムにより情報を発信することは可能かと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>例えば、70 周年のハッシュタグをつけて、連携事業について発信してもらうとか、そういったことは可能でしょうか。</p>
<p>三木委員</p>	<p>可能だと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>湘南ケーブルさんは、撮影に来ていただくことは可能でしょうか。</p>

小島委員	<p>撮影については、対応いたします。また、こちらの番組の中で出演していただけるコーナーもありますので、そういったところも活用できればと思います。</p>
委員長	<p>外向けの発信についても重要ですが、まずは町民の方に知っていただくというところでは、たとえば学校などでは、親御さん等への各自の発信方法等をお持ちかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
加藤委員	<p>学校では、書面もありますが、マチコミメールという親御さんへのメーリングリストがあります。</p>
委員長	<p>ちなみに、事務局としては、こういった内容を求めていますか。着地点は、どこになるでしょうか。</p>
事務局	<p>今日の段階では皆さまからアイデアをいただければ、というところですが、今後進めていくなかで、このような方法も考えられるのでは、といった内容は随時いただければと思います。</p>
委員長	<p>そうであれば、今日の会議の内容はホームページなどで公開すると思うけど、その中で広くアイデアを募集するというようなことも考えられると思います。</p>
副委員長	<p>情報発信として、横断幕やポスターのほか、富士急モビリティとコラボしてラッピングバスを走らせれば、町内外にも広く発信できると思われま す。また、あわせてオンデマンドバスでも実施できれば、近隣町民にも市 周知できて良いかと思います。</p> <p>また、記念事業といたしまして、先日 NHK のど自慢大会が開催された ところですが、とても話題になったものですので、NHK さんとは別に主催 する町民のど自慢大会、また、自治会別対抗スポーツイベントなど、そう いったことが考えられるかと思います。</p>
委員長	<p>以前は、町民スポーツ大会が開催されており、今はなくなってしまいま したが、寄地区と松田地区の方が一同に会する貴重な機会だったと伺って おります。やはり、そういった、町民の皆さまがコミュニケーションをと れる機会というのは大事だと思いますが、コロナなどによりなくなってし まったりしておりますので、こういったことをきっかけにまたそのような 機会が作れると良いですね。</p>

そういった機会としては、やはりスポーツ系のイベントが手っ取り早いところではありますが、文化団体の方もいらっしゃるし、子どもを含め、色んな人がコミュニケーションをとりやすいよう、内容についてとりまとめたいと思います。

それでは、周知方法については、本日いただいた意見をとりまとめして、次回、1年間の事業スケジュール等をお示しさせていただきます中で、こういった方法がよろしいか、といったところについて再度お話しさせていただければと思います。

4. 議事(3)その他

それでは、その他についてですが、何かございますでしょうか。

《意見等なし》

特になければ、事務局の方からお願いします。

事務局

はい。事務局からは、次回会議についてお話しさせていただきたいと思います。次回は9月開催を予定しており、現時点で事務局としては、9月18日の水曜日、同じ時間にて開催させていただければと考えているのですが、いかがでしょうか。

《意見等なし》

それでは、こちらの日時にて開催させていただきたいと思います。

また、通知と一緒に報酬及び交通費についての書類を送付させていただいておりますので、ご提出をお願いいたします。

事務局からは以上です。

委員長

なお、本日欠席の委員の方には、事務局より会議内容についてまとめた資料をお渡しさせていただきますので、ご承知おきください。

それでは、令和6年度 第1回 松田町・寄村 合併70周年記念事業準備委員会については、これで終了といたします。

ありがとうございました。